

第3章

計画の目標

この章では、環境基本計画の目標を体系的に定めるとともに、基本目標ごとに、その内容を記載しています。

- ① 望ましい環境像
- ② 計画の基本目標
- ③ 環境施策の体系

1 望ましい環境像

村上市環境基本計画を策定するにあたり、将来の村上市の環境について、あるべき望ましい姿としての環境像を「望ましい環境像」として定めます。「望ましい環境像」は、本市のすべての市民にとっての理想であると同時に、本計画がその実現を目指す将来ビジョンとして位置づけられます。

本市の特徴は、豊かな自然環境と歴史・誇り高い伝統文化の調和にあると言えます。このため、「望ましい環境像」についても、自然環境と歴史・文化を基調とすることとします。

【自然の恵み豊かな山・川・海】

朝日連峰の広大な森林は、植生を基盤とした野生の動植物などの多様な生態系を育み、水源を涵（かん）養し、自然災害を防止するとともに、地球環境の保全にも役立っています。また、先人たちは森林に関わる独特の生活文化を生み出してきたと同時に、貴重な生活資源を得てきました。

三面川や荒川などの河川では、過去の長い時間を経て運ばれた土砂により肥沃な平野が作られたことで、今日の農業が生まれてきました。これらの川の周辺では、水辺に特徴的な豊かな生態系が生まれ、そこからも鮭漁などを通じて豊かな食文化が築かれてきました。

日本海からは、岩船港や寝屋漁港などを基地として海産物が得られており、古くから地域の水産業が営まれてきました。

【歴史と誇り高い伝統文化】

本市には、村上天跡や平林城跡などの史跡や数多くの歴史的建造物、古くから伝わる伝統芸能など、有形無形の貴重な歴史遺産が残されています。また、現在もこれらの歴史遺産の保存・伝承や歴史的町並みの保全活動が続けられています。このような伝統文化を通じて、私たちは村上市民としての「郷育のまち・村上」の確立につなげてきました。

以上のようなことから、本計画の望ましい環境像を次のように定めます。

【望ましい環境像】
山・川・海 豊かな自然に育まれた
歴史と伝統を継承するまち